



これまでの取り組みや経験について語る塚本こなみ氏

花と笑顔に溢れた美しいまちに

■緑花講演会

多くの人に花と緑を楽しんでもらおうと、牧之原市花の会による「緑花講演会」が1月31日、い〜らで開かれ、約300人が参加しました。

講演は、はままつフラワーパーク理事長の塚本こなみ氏を講師に招き、花が育てる「ひと」と「まち」をテーマに行われました。

塚本氏は「花はみんなを笑顔にするし、きれいだねと感謝されるとうれしくなる。皆さんも花のコミュニケーションを広げ、地域を元気にしていってほしい」と参加者に思いを語りました。

児童対象の図書と雑誌を寄贈

■まきのはらし図書館ビタミン会図書寄贈

「まきのはらし図書館ビタミン会」が1月25日、市役所相良庁舎を訪れ、坪池洋教育長に図書の寄贈を行いました。

寄贈された本は、まきのはら産業フェア2015で行った、リサイクル図書販売会での売上の一部で購入した、児童向け図書5冊と雑誌2種類です。

水嶋みゆき代表は「図書館を充実させるために、役立ててください」と話しました。

寄贈された図書と雑誌は、榛原・相良両図書館に配置されます。



坪池洋教育長に図書を手渡すメンバーたち

花を贈り愛や思いを伝える日

■フラワーバレンタイン

男性から女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」を広めるため、ハイナングーベラ部会は2月2日、市役所榛原庁舎を訪れ、約100本のガーベラを西原茂樹市長に贈呈しました。

欧米では2月14日、男性から女性に花を贈る習慣があります。部会では市特産のガーベラのPRとともに、この普及に取り組んでいます。

部会の川村雅之さんは「バレンタインデーでは、フラワーバレンタインとして気軽に花を使っていたきたい」と話してくれました。



ガーベラ部会から贈呈されたガーベラのアレンジメント



色鮮やかなつるし飾りを楽しむ来場者

子どもが健やかに成長するように

■大鐘家つるし飾り展

つるし飾り展が5月中旬まで、片浜区の国指定重要文化材「大鐘家」で開かれています。

つるし飾りは、子どもの健やかな成長を願い、桃の節句のひな壇の両側に、はぎれで作ったぬいぐるみをつるす風習で、別名「桃飾り」とも呼ばれています。

訪れた人たちは、約2メートルからつるした、愛好家が制作した約100点のサルなどの動物や巾着、草履などの縁起物をかたどった、色鮮やかなつるし飾りを楽しんでいました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



大石彦彦地区長会長の音頭により静岡牧之原茶「望」で乾杯する出席者

今年1年の発展を誓う

■平成28年牧之原市新春初顔合わせ会

新春初顔合わせ会が1月4日、マイハートうおともで開かれ、市内の企業や団体の代表者、教育関係者ら約250人が出席しました。

会に先立ち、さまざまな分野で永年にわたり活躍され、市の発展に寄与された個人と団体に対し、表彰状や感謝状が贈られました。

西原市長は「本年も市民の皆さんとの対話により、活力と希望にあふれる地域づくりに努めてまいります」と年頭のあいさつを行いました。

出席者は、静岡牧之原茶「望」で乾杯した後、さまざまな種類のお茶と市内菓子店自慢の菓子を味わいながら、新年のあいさつを交わすとともに、今年の抱負を語り合うなど、会場は明るく和やかな雰囲気になりました。

常に起こりうる災害を想定して

■平成28年牧之原市消防団出初式

牧之原市消防団出初式が、相良中学校で1月10日に執り行われ、団員約450人が参加しました。

式では、勤続5年以上や功績のあった団員、退職する団員などが表彰された後、野ヶ本好剛団長が「日ごろからの訓練を積み重ね、市民の生命、財産を守るために、防災意識を常に持ち続けることをお願いしたい」と訓示しました。

グラウンドでは、消防団によるポンプ車操法と小型ポンプ操法が披露され、各分団員は訓練の成果を発揮していました。



小型ポンプ操法で一斉に放水をする消防団員



正月飾りを燃やしお餅を焼く園児たち

煙を浴びて1年の無病息災を祈る

■どんど焼き／牧之原保育園

1月7日、牧之原保育園で「どんど焼き」が行われ、園児113人が恒例の行事を楽しみました。

日本の伝統文化を知ってもらおうと、年末に園児が地域のお年寄りと一緒に作った正月飾りを持ち寄り燃やす行事で、毎年行われています。

園児らは、順番にしめ縄などの正月飾りを燃やして、手をあおいで煙を浴びながら今年一年の無病息災を祈りました。

また、正月飾りを燃やす火で、竹竿の先に巻きつけたお餅を焼き、美味しそうに食べていました。